2023年 11月 2日 (木) 雨天中止

のせでん第1木曜ハイキング

木喰(もくじき)上人の微笑み仏に癒されて 阿古谷毘沙門堂から天乳寺・東光寺コース

集合時間 9：30 ～ 10：30

集合場所 能勢電鉄 日生中央駅前

時間内で来られた方から順次スタートする五月雨方式です

街歩き 山歩き

距離 約１３km 一般向き

「のせでんハイキング」は事前申込不要・参加費無料です。 表記の時間内に集合場所へお集まりください。

コースマップ

マナーウオーク マナー向上を目指しましょう。

ゴミや空き缶は捨てないで必ず持ち帰りましょう！

木喰明満上人自刻像（東光寺）

木喰明満上人自刻像（天乳寺）

阿古谷毘沙門堂の七仏薬師坐像

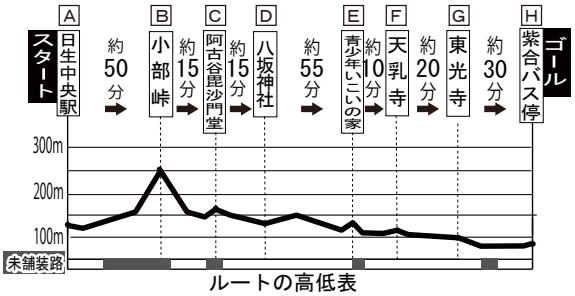
※ハイキング開催当日以外での拝観には事前予約と拝観料が必要です

ひとくちメモ

木喰明満上人が猪名川町に残した３ヶ所の木喰仏を造像順に巡ります。旧丹州街道の山道を進み小部峠を越え阿古谷へ下ると集落の中ほど、毘沙門堂の中に７体の柔和な表情の木喰仏が並んでいます。丹波方面から入った木喰上人が旧川辺郡内で初めて彫ったものです。その後は車道を進んで青少年いこいの家の広場でお昼ご飯。後半は裏山から天乳寺へ抜けて３体の見事な木喰仏を拝観。続く東光寺では境内の子安観音像を拝みます。近畿自然歩道を経て紫合から路線バスに乗ってゴールの日生中央駅へ戻りましょう。【ウオーキングシューズがお勧めです】

※ハイキング開催当日以外での拝観には事前予約と拝観料が必要です

境内の立木に掘られた子安観音像



ルートの高低表

ゴールへのバスご案内

紫合バス停（阪急バス）
日生中央駅方面行き時刻表
13 時 29 40 42 56
14 時 29 40 56
15 時 29 40 42 56
約 10 分乗車 運賃：180 円

●ご参加の際には、ホームページ等で最新の状況を確認してください。
●ご自分の体力、体調を考慮された上でご参加ください。
参加者のケガや他に与えた損害などについては、主催者は一切の責任を負いません。万一事故が生じた場合の費用は参加者負担となります。
●小学生以下および75歳以上の方の単独参加はご遠慮ください。
保護者及び付き添いの方（友人等）と一緒にご参加ください。
●係員の指示および注意事項は必ず守ってください。
●別行動をとられた場合は、のせでんハイキングの参加に関係のない方とします。
●緊急時は警察・消防署および近くのスタッフに連絡してください。
●天候の急変等、主催者の判断によりコースを変更することがあります。
※持ち物・・・お弁当・飲み物・雨具・救急用品など

川西能勢口駅を 9時3分～ 10時3分発 にご乗車ください

○お問い合わせ（9:30 ～ 17:00 ※土・日・祝日は休み）
能勢電鉄ハイキング担当 072-792-7716
○当日の決行・中止のお問い合わせは（前日 17 時以降）
応答専用ダイヤル 072-792-7227

協力：尼崎市立青少年いこいの家、猪名川木喰会、阿古谷毘沙門堂、天乳寺、東光寺

木喰明満上人自刻像（天乳寺）

【猪名川の木喰仏 発見】

大正 13(1924) 年　柳宗悦（日本民芸館創立者）によって全国各地の木喰仏が研究されるが、猪名川周辺の木喰仏はその存在さえ知られることは無かった。

~~大正 13(1924) 年~~
昭和 26(1951) 年　西能勢村々長の松尾源良氏（後に能勢電鉄社長歴任）の仲介で、北摂史談会の懇親会が汐の湯温泉で催され、会員の一人から木喰仏の情報を聞いた関西学院大学文学部の粟野頼之祐教授は翌月、東光寺をはじめ、天乳寺、阿古谷毘沙門堂や個人所有の木喰仏を発見。
『北摂郷土史学新聞』15 号に「北摂における木喰上人の足跡 ― 仏像二十六体発見 ―」を執筆、掲載し世の知れるところとなる。
※2019 年前回開催時の表記に誤りがありました

※粟野頼之祐氏は旧六瀬村の出身。猪名川町立大島小学校の校歌を作詞
“猪名のおく　清き水際に　愛の水くみて～”（参）歌詞の冒頭

昭和 30(1955) 年　中谷村・六瀬村が合併して猪名川町が発足。
昭和 35(1960) 年　岡部伊都子氏の『芸術新潮』11 巻 11 号に「笑みの木喰仏―東光寺」が掲載。
昭和 37(1962) 年　同著が新潮社発行の『観光バスの行かない…埋もれた古寺』に所収。大手出版社の書籍に掲載されたことでなお一層、世間に周知されることとなる。
昭和 42(1967) 年　粟野頼之祐著『北摂における木喰上人』北摂郷土史学叢書 1（北摂郷土史学会）
昭和 56(1981) 年　猪名川高校教諭の牧野正恭氏の「九十才の微笑仏 ～猪名川木喰由来縁考～」で詳しく解明される。
平成 11(1999) 年　県の文化財に指定。
令和　5(2023) 年　町内現存の木喰仏は 26 躯（毘沙門堂 7 躯、天乳寺 3 躯、東光寺 14 躯、町立ふるさと館 1 躯、個人 1 躯、所有）

七仏薬師坐像（阿古谷毘沙門堂）

【略年譜】

享保　3 (1718) 年　甲斐国丸畑（山梨県西八代郡下部町丸畑）
伊藤六兵衛の次男として生まれる
元文　4 (1739) 年　相模国伊勢原 大山不動で古義真言の大徳に道を説かれ出家
宝暦 12 (1762) 年　常陸国羅漢寺 木食観海上人より木食戒を受ける

安永　2 (1773) 年　日本廻国八宗一見の大願を発し相模国伊勢原から出立
行程：大山→江戸→富士山→館山→筑波山→中禅寺→鳥海山→米沢→丸畑
安永　7 (1778) 年　日本廻国へ二度目の出立
行程：丸畑→東北→南北海道→東北→北関東→佐渡→善光寺→丸畑
天明　6 (1786) 年　前年に故郷 丸畑に帰ったが、三たび出立し西国方面へ
行程：丸畑→塩尻→富山→永平寺→高野山→比叡山→四国巡礼（遍行）→大分
天明　8 (1788) 年　道中、求められて日向国分寺で 10 年間住職を務める
寛政　6 (1794) 年　木食行者行道から天一自在法門木喰五行菩薩と名を変える
行程：日向→鹿児島→長崎→下関→出雲→松山→四国巡礼→大阪→東海道→丸畑
寛政 12 (1800) 年　日本廻国修行を大願成就し甲斐国丸畑へ帰郷　行程約五千余里

享和　2 (1802) 年　日本廻国へ四度目の出立
行程：丸畑→草津→諏訪→小千谷→長岡→諏訪→京都（長岡の大工 與清（よせい）が同行）
文化　3 (1806) 年　丹波国船井郡清源寺に留錫の際、霊夢に阿弥陀如来のお告げあり
神通光明木喰明満仙人と改名
文化　4 (1807) 年　丹波国船井郡竜泉寺を経て 3 月下旬 摂津国川辺郡猪名川に入る
7 月初旬 猪名川を立ち京都を経て信州へ
文化　5 (1808) 年　甲斐国教安寺での七観音を最後に行跡不明
文化　7 (1810) 年　遺品の笈箱（おいばこ）に
「円寂木喰五行明満仙人品位　文化七庚午年六月初五日」と
書かれた紙位牌があった

わが心 にごせばにごる すめばすむ
すむもにごるも こころなりけり

まるまると まるめまるめよ わが心
まん丸丸く 丸くまん丸

※造した彫刻千躰以上、和歌 600 首以上

立木子安観音立像（東光寺）

猪名川町の木喰仏について詳しく知りたい方は、猪名川町立図書館に各種資料が揃っています。　※毎週月曜日と第 1 木曜日は休館